

東洋太平洋 バンタム級 千葉選手が王者に

ミノス（本社・東京、藤野和男社長）が（一力）相手に12回50後援する日本バンタム級7位の千葉開選手（横浜光）は22日、東京・後楽園ホールで開かれたOPBF東洋太平洋バンタム級王座戦



2度目の挑戦 ミノスが後援

にした。

序盤は強打の王者に押し込まれる展開が続き、4回終了時の途中採点では後塵を拝したが、6回から足を使って徐々に挽回。10回から主導権を握ると、手を緩めず猛ラッシュを12回にレフェリーが試合を止めると王者は崩れた。

千葉選手は試合後のインタビューで「1日1日を最後と思ってやってきた。プレッシャーも変に感じず、わくわくして試合に臨んだ」と振り返った。千葉選手は1993年生まれで、岩手県大船渡市出身。2015年12月5日にデビューし、プロ18戦で15勝（9KO）3敗の戦績を誇る。栗原選手に勝利したことで、世界も視野に入ってきた。

転載許可済み

株式会社石油化学新聞社「プロパン・ブタンニュース」

2022年10月3日版1面 に掲載